

平成27年度全国学力・学習状況調査（3年生で実施）の結果について

○本校の状況

- 3教科（国語・数学・理科）とも、A（知識）がB（活用）より上回っている。
- 理科の知識は、全国平均に近い。
- 3教科（国語・数学・理科）とも、選択式の問題は高い結果が出ているが、記述式の問題を苦手としている。
- 「自分の考えや意見を発表するのが得意」と回答している生徒が多い。
- 「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒が多い。
- ゲームやメールをする時間、インターネットをする時間、テレビを見る時間が長い。
- 家で復習をしたり、宿題をしていると回答した生徒が少なく、家庭学習の時間も短い。
- 生活習慣（朝食をとる、規則正しい生活）は身につけている生徒が多い。
- 「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」「人の役に立つ人間になりたい」と思う生徒が多い。

○経年との比較

昨年度のデータとの比較すると

- 国語、数学とも、昨年度り下がっている。関心も、昨年より下がっている。
- 生活習慣(朝食をとる、規則正しい生活)は、昨年よりやや向上した。
- 自尊感情や言語活動は、昨年と同程度である。
- 家庭学習の習慣と規範意識が昨年度より下がってしまった。

○今後の取り組み

- 3教科とも記述式の問題を苦手としているので、授業の中で書く機会を多くし、伝えたいことが的確に表現できるようにしていく。
- ワンデイワンページやK1の取り組みで、知識は定着しているが、活用できていない。身に付けた知識を生かして物事が考えられるような授業の工夫をする。
- 言語活動・読解力の良い状況が続いているので、今後も保っていききたい。生徒主導の行事運営や「ケアのある学び」、読書などの取り組みの成果であると考えられる。今後も継続して取り組んでいく。
- 生活習慣は、昨年より向上しているので、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していきたい。
- ゲームやメール、テレビを見る時間が多いため、家庭学習時間が少ない。毎日の学習を大切に、家庭学習の時間を確保する指導をする。

我孫子市立湖北中学校